

# 令和元年度 本郷新記念札幌彫刻美術館 事業報告 (2019年12月～2020年2月)

## 1 展覧会事業

### ◇特別展

#### ⑤ さっぽろ雪像彫刻展 2020

さっぽろ雪像彫刻展実行委員会との共催。市内の造形作家及び美術・デザインを学ぶ学生が雪の彫刻作品を制作、展示した。11回目を迎えた今回は、例年のない雪不足に見舞われたものの、札幌芸術の森から雪を輸送し、開催へと漕ぎ着けた。近隣住民を中心に、毎年多くの来場があり、今年も盛況であった。学生を含む若手、中堅、ベテラン作家が一所に集い制作する場を作ることで、次世代の育成にも寄与している。

期日：1月24日(金)～1月26日(日)3日間

会場：本館 庭園

主催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

後援：札幌市、札幌市教育委員会

協賛：なよろ観光まちづくり協会、株式会社スペース・デザイン工業

協力：北海道芸術デザイン専門学校、LOVEWOOD、高田順子

ポスター・フライヤー製作：後藤精二

観覧料：無料

入館者数：600人

出品作家：清水宏晃、河崎ゆかり、佐藤一明、野村裕之、石井誠、熊谷文秀、大泉力也、道都大学、北海道芸術デザイン専門学校

滑り台制作者：佐々木仁美、水戸麻記子、くまがいきよし、関川冬真、丸山恭子

### ◇コレクション展

#### ① 本郷新の歩みと芸術

本郷新が手がけた野外彫刻の石膏原型やブロンズ、木彫などの代表作、制作道具などを展示。本郷が全国各地に設置した大型野外彫刻の石膏原型の展示により、北海道内外からの来館者に、実は身近な場所に作品が存在することをアピールした。また、2階展示室においては、彫刻作品に加え解説パネルや年表により本郷の多面的な制作のありようを示した。

期日：2019年4月6日(土)～2020年4月22日(水)309日間

\*新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため2月29日(土)～3月15日(日)を臨時休館(14日間)。

会場：記念館

入館者数：6,141人(2月28日まで227日間)

#### ② 本郷新と無辜の民

本郷新が1970年に制作した〈無辜の民〉シリーズ全15点のほか、ブロンズ彫刻、初公開の石膏原型、デッサン、《石狩―無辜の民》関連資料を展示し、作品の造形的な魅力と制作背景を紹介した。国際紛争や難民問題といった今なお人々の生活を脅かす物事に対して正面から向き合ったこの作品群にあらためて注目し、本郷作品の現代における意味を見つめなおすことを目的とした。

期日：11月15日(金)～2020年2月12日(水)72日間

会場：本館 展示室

主催：本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

入館者数：1,054人

## 関連事業：

### (1) ギャラリートーク

展示室を巡りながら、〈無辜の民〉シリーズを軸に本郷新のひとと芸術について語った。

期日：11月16日(土) 11:00～11:40

会場：本館 研修室、展示室

聴講者数：7人

講師：井上みどり(札幌芸術の森美術館 学芸員)

### (2) スライドトーク「抵抗の時代のモニュメント—無辜の民と1970年」

展示室を巡りながら、〈無辜の民〉シリーズを軸に本郷新のひとと芸術について語った。

期日：①12月7日(土)、②2月8日(土) 各日とも11:00～11:30

会場：本館 展示室

聴講者数：①5人、②7人

講師：山田のぞみ(本郷新記念札幌彫刻美術館 学芸員)

## ③所蔵品展

当館に所蔵されるブロンズ彫刻を軸に、テラコッタや木彫なども加えて、多数の優品を出品。また、本郷が熱心に取り組んだ全国各地のモニュメント関連の作品やマケット(模型)も概観できる展示とした。これらを通して本郷芸術に通底する世界平和について伝えると同時に、多彩な裸婦像や頭像を一行に並べたことによって、本郷の作風の変遷が垣間見られ、氏の飽くなき表現への探求をも伝える展覧会となった。

期日：2020年2月20日(木)～2020年4月22日(水) 92日間

\*新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため2月29日～3月15日を臨時休館(14日間)

会場：本館 展示室

主催：本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

入館者数：29人

## 2普及事業

### ①子どもの文化芸術体験事業 ハロー!ミュージアム

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を対象に美術館に招待する事業。

期日：6月5日(水)～2020年2月7日(金)

会場：本館、本館庭園、記念館

参加校数：21校24回(三育、拓北、しらかば台、大倉山、二十四軒、宮の森、屯田南、手稲西、中沼、前田、澄川南①②、山の手南、富丘、盤溪、平和、福移、星置東①②③、新陽、伏古北、本町、駒岡)

参加児童数：1,238人

### ②彫美連続講座2019

彫刻の見かた、楽しみ方を学び、芸術鑑賞の幅を広げる4回連続講座。

#### (3)「現代美術に見る立体表現のさまざま」

期日：12月15日(日) 10:30～12:00

会場：札幌文化芸術交流センター SCARTS スタジオ1・2

受講料：500円

受講者数：25人

講師：岩崎直人(本郷新記念札幌彫刻美術館 業務係長/学芸員)

#### (4)「本郷新の彫刻と平和」

期日：2月23日(日) 10:30～12:00 \*新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため中止

会場：札幌文化芸術交流センター SCARTS スタジオ1・2

受講料：500 円

講師：井上みどり（札幌芸術の森美術館学芸員／元・本郷新記念札幌彫刻美術館 学芸員）

### ③美術館めぐり

本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌芸術の森美術館等を巡り、展覧会鑑賞（解説付き）とランチビュッフェを堪能できるバスツアーを実施。札幌文化芸術交流センター SCARTS での配架チラシを見た市民からの申込が増えたことにより、従来の参加者に加えて新たな参加者を獲得することが叶った。

（4）「冬の美術館めぐり」

①「所蔵品」展／本郷新記念札幌彫刻美術館

②「みんなのミュシャ」展／札幌芸術の森美術館

③「北海道 151 年のヴンダーカンマー」／北海道立近代美術館

期日：2 月 21 日（金）

参加費：4,200 円

参加者数：11 人

### ④造形教室

（3）冬休み子ども造形教室「テラコッタ粘土でオブジェをつくろう！」

小学校 3～6 年生を対象に、本郷新の作品からイメージを膨らませ、自分なりの創意のもとにテラコッタ粘土で彫刻を製作する教室を実施した。

期日：2020 年 1 月 11 日（土）10:00～12:30

会場：本館 研修室

参加者数：児童 9 人

受講料：1,000 円

講師：川名義美（彫刻家）

## 3 協力事業

### ①学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における彫刻清掃活動、職場体験、大学での調査・研究、博物館実習の受け入れなど学校教育への協力を行った。

（15）三角山小学校 3 年生の総合的な学習の時間枠での博物館利用（スノーキャンドルづくり）

2020 年 1 月 24 日（金） 児童 44 人、引率者 3 人

（16）三角山小学校 3 年生の総合的な学習の時間枠での博物館利用（雪像見学）

2020 年 1 月 27 日（月） 児童 44 人、引率者 3 人

### ②ボランティアの受け入れ

団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行った。

（1）図書情報コーナーボランティア受け入れ

延べ 66 名

（2）英訳ボランティア受け入れ

延べ 37 名

（3）解説ボランティア受け入れ

1 名

- (4) スクラップブックボランティア受け入れ  
延べ10名

## 4 連携事業

## 5 広報活動

### ① ホームページ

平成30年度リニューアルしたホームページにより、札幌彫刻美術館で行なう展覧会等の事業の情報のほか、本郷新についての情報について、積極的に発信した。

### ② 地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努めた。

## 6 利用促進

### ④ 図書・情報コーナー

本郷新や彫刻芸術に関する図書、新聞記事等を公開し、来館者の閲覧に供した。

期日：水曜日（4～11月）、土曜日（12～3月）

会場：記念館2階 図書・情報コーナー

利用者数：150人

## 7 札幌彫刻賞

### ① 第3回本郷新記念札幌彫刻賞

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品に「本郷新記念札幌彫刻賞」を贈る事業。受賞作は、1日約7万人が往来する札幌市中心部の公共空間「大通交流拠点地下広場」に約3年間設置される。また、本郷新記念札幌彫刻美術館において、受賞作家の個展を開催。

募集期間：11月1日（金）～2020年1月31日（金）

応募数：13件

一次選考会日時：2020年2月24日（月・振）10:00～12:00

一次選考会会場：札幌市民交流プラザ控室401

選考委員：酒井忠康、建畠哲、植松奎二、阿部典英、佐藤友哉、寺嶋弘道

一次選考通過者：岡田健太郎、高橋喜代史、田村純也、藤沢レオ、藤原千也